

# 新潟理研測範株式会社（製造業）



目標売上額：3.5億円



精密平面水準器（高精度な測定器の製造を通じて信頼のできる製品を提供しています）

- 本社所在地：新潟県長岡市川口中山700-41
- 事業概要：精密測定器の製造・販売
- 常時使用する従業員：20名  
（2026年4月時点）
- 現在の売上高：2.3億円  
（2025年8月期）
- 法人番号：4110001025543
- Web：https://n-rsk.jp/

## 企業理念・3.5億円に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
内藤 豊

「精密測定技術の継承と進化で、持続可能なものづくりを支える。」

「精密測定技術の継承と進化で、持続可能なものづくりを支える。」  
熟練技術とデジタル活用を融合し、高品質な測定機器を安定供給することで、次世代のものづくり基盤を支えていく。

## 売上3.5億円実現の目標と課題

### 実施目標

5年以内に、品質水準を維持しながら、生産性向上と業務効率化を実現し、売上高1.5倍を目指す。

熟練技術の標準化・情報共有体制の構築・工程管理の効率化を進めることで、少人数でも安定した生産体制を確立する。  
また、高付加価値製品の生産を強化することにより、収益性向上と持続的な成長を実現する。

### 課題

図面、製造条件、検査基準などの情報が紙やデータでの個別の管理に依存しており、必要な情報の検索や引継ぎの際の確認作業に時間を要している。

工程管理や情報共有の負荷が増加しているため、多品種少量生産への対応に時間を要しコストが増大している。

今後の受注拡大や高付加価値製品へのスムーズな対応を進めるためには、品質を維持しながら生産性向上を実現できる体制の構築が必要となっている。

## 売上3.5億円実現に向けた具体的措置

### 技術・品質情報の標準化と共有化

気泡管製造や精密加工・検査工程における熟練社員のノウハウや品質基準を整理・標準化し、図面・製造条件・検査情報を一元管理する。  
属人的になっていた判断基準を見える化することで、技術継承の確実性や効率化、品質の安定化を図る。

### 実施体制

経営層と現場責任者が中心となり、製造・検査・品質管理部門と連携しながら、現場実務に即した運用体制を構築する。

熟練社員が持つ加工条件や品質判断基準を整理し、若手社員へ共有できる形に標準化を進める。

外部IT事業者と連携し、図面・製造・品質情報を一元管理できる仕組みを整備することで、情報検索や確認作業の効率化を図る。

導入後も現場の運用方法を継続的に見直し、品質の維持と生産性の向上の両立を目指す。